

医療従事者の負担軽減及び処遇改善の取組み

当院では、医療従事者の業務負担の軽減及び勤務環境改善のため、以下の取組みを行っております。

◇業務負担軽減のための取組み

項目	対象	連携職種	対象の業務負担軽減のための具体的な取組み
多職種との連携 による 業務分担	医師	看護師	<ul style="list-style-type: none"> 診療看護師、特定行為看護師による特定行為の実施 認定看護師によるがん相談、がん患者指導の実施 IV ナースの育成
		薬剤師	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケア病棟および緩和ケア病棟に病棟薬剤師を配置 麻薬運用の効率化 CADD への麻薬の充填 継続指示を含めた処方箋監査および代行入力
		臨床工学 技士	<ul style="list-style-type: none"> 腎臓外科手術、心臓カテーテルの介助、ハートライン対応 透析患者の早期治療につながるシャントトラブルのエコー評価
		事務	<ul style="list-style-type: none"> 医師事務作業補助者の配置(40 対 1 補助体制加算) 医師事務作業補助者による入院説明の実施 医師事務作業補助者による検査説明の実施 救急センター担当事務による転送病院の手配
	看護師	歯科衛生士	<ul style="list-style-type: none"> 病棟へ歯科衛生士の配置
		救急救命士	<ul style="list-style-type: none"> ER へ救急救命士の配置
		薬剤師	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケア病棟および緩和ケア病棟に薬剤師を配置 麻薬運用の効率化 クリーンベンチでの TPN 混注 緊急入院患者への注射払出し時の輸液ラベル発行 外来注射薬払出の効率化
		放射線技師	<ul style="list-style-type: none"> CT、MRI 造影検査後の抜針及び検査後説明の実施
		検査技師	<ul style="list-style-type: none"> 病棟、外来等の採取容器の管理 病棟、外来等で採取した検体の一部搬送
		臨床工学 技士	<ul style="list-style-type: none"> 心臓カテーテルの介助
		リハビリテーション セラピスト	<ul style="list-style-type: none"> 透析時運動指導の実施
		事務	<ul style="list-style-type: none"> 救急処置室で採取した検体の搬送 土曜日、輪番日救急入院の際の説明の実施
	薬剤師	事務	<ul style="list-style-type: none"> SPD 導入

◇勤務環境改善のための取り組み

項目	対象	対象の勤務環境改善のための具体的な取り組み
勤務環境の改善	医師	<ul style="list-style-type: none"> ・シフト制勤務の導入 ・初回勤務時にオリエンテーションの実施 ・医局秘書室による MR の初回対応 ・医局秘書室による医師の休暇連絡取りまとめ等、医局内事務対応
	看護師	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師と看護補助者の採用と配置 ・日勤常勤の導入 ・短時間正職員の導入 ・多様な勤務形態の導入 ・夜勤連続 2 回まで、夜勤後の休日をルール化 ・夜間保育の拡大 ・保育室利用者の車通勤許可 ・看護管理委員会による負担軽減に向けての業務量の把握
	薬剤師 リハビリテーション セラピスト	<ul style="list-style-type: none"> ・人員の確保および適正な配置 ・デジタル化の推進(効率化・業務時間の短縮)
	放射線技師	<ul style="list-style-type: none"> ・有給休暇取得率の向上 ・シフト制勤務（早番・遅番）の導入 ・資格取得をサポートする体制づくり ・かび対策のための空調改善
	検査技師	<ul style="list-style-type: none"> ・有給休暇取得率の向上 ・女性技師の勤務継続、職務復帰支援 ・業務改善による時間外業務の削減
	栄養士	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善による記録時間の短縮化 ・システムの見直しによる給食管理業務の効率化 ・一部シフト勤務導入により、時間外勤務の減少、有給休暇取得率の増加 ・調理室エリアの高湿、高温対策のための空調改善
	臨床工学 技士	<ul style="list-style-type: none"> ・オンコール体制の整備 ・有給休暇取得率の向上
	事務	<ul style="list-style-type: none"> ・会議等運営要領見直しによる効率化の推進 ・時差出勤制度の導入 ・全職員対象のリフレッシュ休暇取得ルール見直し ・各受付時、検査説明時の動画案内による業務効率化
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療連携パスの導入 ・クリティカルパスの適用拡大 ・逆紹介の推進 	

(2025 年 4 月 1 日更新)

推進組織

医師・看護職員等の負担軽減等検討委員会

推進責任者： 歯科口腔管理科 部長 後藤 陽子